

**鏡山縦走コースの分岐点から  
山麓の野外活動センターまで下ります**

立石山のピークが結局わからないまま、「ややうみ坂」の説明板、稜線に設置された気象観測機器の横を通ると寒谷山の分岐点。鏡山は左、野外活動センターは右です。ここから一気に下りと思いきや再びアップダウンの繰り返し。やがて整備された階段道になるとセンターの建物が見えてきます。



鏡山、野外活動センターの分岐点。



「古城山」の説明板

3



これが山頂直下の急斜面。

山頂直下の急斜面をロープで登るとそこは360度の最高のビューポイント！雑木林の中を通り、沢つたいに登ります。道らしき道がないので、枝に巻かれた青いビニールひもが頼り。石垣を過ぎると急傾斜の登りです。稜線の出合から城山はすぐ近くですが、山上直下はなんと岩場の急斜面。設置されたロープを使わないと登れません。山頂は小さな広場になって、見晴らしは抜群。

2



城山登山口。木目板のプレートが掲げてあります。

憩の橋を渡って山麓のキャンプ道へ…城山東枯沢登山口から城山を目指します。希望が丘文化公園の「西ゲート」バス停から中央道を東へ。北稜の尖った低い山が城山です。芝生広場奥の憩の橋を渡り、フィールドアスレチック受付前からキャンプ道に入ります。大きく右にカーブすると山上ダムからの道と合流。そのまま道なりに進むと、城山東枯沢登山口が見つかります。

**start! goal!**



植林の中にある古城山の説明板。

歴史豊かな足跡を残す古城山はどこ？鏡山への縦走路はアップダウンの連続。城山からは来た道を戻り、起伏の豊かな稜線の細い尾根道を東へ。杉の植林地に入ると「古城山と岩倉城・桜本坊と桜本池」の説明板が見つかります。古城山の頂上は木立の奥にあり、付近に池があるようです。ここから鏡山へ続く縦走路は、ブッシュあり、岩場ありのアップダウンの連続。

1

城山東枯沢登山口

「源流を歩こうコース」を散策

5



友情の橋からはじまる「源流を歩こうコース」

「源流を歩こうコース」を散策。水辺の自然をたっぷり満喫。友情の橋まで下ると中央道に出ますが、橋の手前から「源流を歩こうコース」(1,250m)がはじまります。荒川谷の水辺をたどり、キャンプサイトを抜けて、山麓の家棟川源流から芝生広場まで山麓の道をくねくね。最後は中央道に出て、スタート地点の「西ゲート」バス停に戻ります。



源流に架かる木橋を渡って芝生広場へ。



芝生広場の川に架かる憩の橋。



城山の急斜面を登り切ると背後に北稜の山並みが広がります。

鏡山までの縦走路はいくつものピークをたどるので、アップダウンの連続です。今回は鏡山まで縦走せずに、寒谷山と呼ばれるピークから野外活動センターへ下り、中央道沿いに設定された「源流を歩こうコース」を歩いて西ゲートへ戻ります。  
変化に富んだ山歩きがたっぷり。楽しみ、希望が丘文化公園の大きさにもびっくりです。

DATA	山行日/06年12月7日
	天候/曇りのち雨
	歩行距離/約8km
	総時間/約5時間
	難易度★★(中級者向き)

**ひとくちメモ**

- ハイキング、散策コースがいっぱい。今回の「北稜コース」「源流を歩こうコース」の他に、希望が丘文化公園には「天山コース」「南稜見晴らしコース」「森を歩こうコース」「スイレンを見に行こうコース」など、多彩なハイキング、散策コースがあり、希望が丘文化公園主催のハイキングも開催されています。
- 鏡山縦走路にチャレンジ

城山から標高385mの鏡山まで続く縦走路は健脚向き。以前当欄で、竜王町からの登山コースを紹介したことがありますが、希望が丘からのコースも一度チャレンジしてみたい。

**Route map**

●アクセス  
JR野洲駅から「花緑公園」村田製作所」行きバスで約10分、「西ゲート」で下車。車の場合は、栗東IC、竜王ICから約15分、希望が丘文化公園に駐車場があります。ちなみに、希望が丘文化公園は月曜休園です。

●観光に関するお問い合わせ  
希望が丘文化公園  
☎077-586-2111  
野洲市商工観光課  
☎077-589-6316



湖国健脚倶楽部  
しろやま ふるしろやま  
城山・古城山●野洲市  
尾根のアップダウンと眺望が楽しめる  
希望が丘文化公園の北稜を縦走しよう。

野洲市、湖南市、竜王町にまたがる丘陵地帯に、スポーツ、野外活動のための多彩な施設が設けられている希望が丘文化公園。昨年、西ゲートから南稜をたどって天山をめぐるコースを紹介しましたが、今回は公園の北に横たわる稜線を歩いてみました。西端にある城山から東方の鏡山まで続く縦走路を利用して、希望が丘文化公園の自然の魅力を満喫！  
城山は戦国時代の山城があったことから、その名が残っているようですが、その地形はまさに岩の様相。標高はわずか286mにすぎませんが、360度の眺望が素晴らしい。山頂直下は岩場の急斜面で、敵を蹴散らすにはもってこい。この岩場の上り下りもフィールドアスレチックのようでスリリングです。